

第19号



シルバー今治

題字 武田正春

<発行>

公益社団法人 今治市シルバー人材センター

所在地 〒794-0033 今治市東門町五丁目 840 番 4

TEL 0898-22-2003

FAX 0898-31-3601

URL <http://imabari-silver.jp/>Eメール imabari.sjc@fancy.ocn.ne.jp

「ダムの初日の出」

写真 村上 省二



理事長あいさつ

理事長 越智 正規

明けましておめでとうございます。

令和となって初めて迎える新年でございます。令和の時代も、会員の皆様方には変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。さて、少子高齢化に伴い生産年齢人口の減少による人手不足が深刻化するなかで、働き方改革の一環として雇用延長等に加えて、同一労働・同一賃金が導入されるなど、シルバーを取り巻く環境は、大きく変化しようとしております。

そうしたなか、シルバー人材センターは、働く意欲のある高齢者の皆様が、年齢に関わりなく活躍できる「生涯現役社会」の実現へ向けて果たすべき大きな役割を担っていると考えております。

このため、本年は今治市シルバー人材センターでは、「ONE TEAM」として一致団結するとともに、会員の拡充、就業機会の確保・拡大に加え、安全・適正就業の推進を図ってまいります。

特に、就業開拓専門員の皆様による事業開拓や会員拡充、広報いまばりや、地元情報誌への広告掲載、イベント等を通じた積極的な広報、普及啓発活動にも努めます。

また、高齢者の皆様の社会参加を通じた生きがいづくりや地域貢献に十分にも配慮し、行政をはじめとする関係機関との連携を強化した事業展開に取り組んでまいります。

一方で、会員の皆様には「安全は全てに優先する」を理念に、事故の無い明るい就業に努めて頂きたいと思っております。

シルバー人材センターの目指すべき姿は、「地域ニーズに応えることで地域に頼りにされること」、「仕事を通じて人の喜ぶ顔が見え、会員の皆様が誇りを持てること」、「働くことで社会と繋がり、仲間ができて健康でいられること」などでございます。

これらのことをモットーに、少しでも地域社会づくりに寄与し、信頼されるセンターの構築に向けて邁進してまいりたいと考えておりますので、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年は、56年ぶりに東京オリンピックも開催されます。

新しい年が、会員の皆様方とセンターにとりまして、穏やかで希望に満ちた明るい年でありますよう心からお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

活動報告

愛媛新聞に掲載されました

令和元年9月1日から2日に渡り、愛媛県松山市において「G20愛媛・松山労働雇用大臣会合」が開催されました。

G20労働雇用大臣会合は、分野別の閣僚会合のひとつで、今回が10回目だったそうです。

各国の雇用担当大臣や、国際機関の代表者が来県し、世界の雇用情勢や労働問題について話し合いがなされました。

会合に先立ち、8月31日付の愛媛新聞に、「仕事の未来をみつめて」と題した開催記念の特集が発行され、今治城で働く、三好康生さん、日之西正樹さん、八木和子さんの三名の仕事ぶりが紹介されました。

今治城に観光に来てくれていた県外のお客様を相手に、活き活きとお仕事をする様子や、仕事に対する思いなどが掲載されました。

最近では、外国からのお客様も多く、英語で対応することもあるのだとか。

この新聞は、会合に出席した方々、関係者の方々にも配布されたそうです。

当センターの会員さんの活躍の様子を、英字でも紹介され、各国の方々にも読んでいただけたかと思うと、大変

ワクワクしますね。



交通安全講習会

高齢者の事故が多発していることもあり、令和元年11月29日に、愛媛県警、今治警察署、愛媛ダイハツ（株）及びJAF様のご協力をいただき、高齢者のための「交通安全講習会」を開催しました。



今回の29名の参加者は、3班に分か

れて、交通安全教習車の「交通ルールまもるとあんしん号」を使った反射神経の測定、自動車運転のシミュレーション体験や、歩行者シミュレーションの機材を使つての安全運転講習、セイフティサポートカーを使った、自動ブレーキ体験等の実習を行いました。

今年、「藤山健康文化公園」の公園内と妙見山古墳周辺を、ウォーキングしながら清掃しました。

古墳までの道のりは、ちょっとした山登り。でも、普段から元気な会員さん達は、すいすいと登っていききました。「近くにおるのに、登ったのは初めてじゃ。」



健康ウォーキング及びボランティア清掃

令和元年10月26日に、健康ウォーキングとボランティア清掃を行い、52名の参加がありました。（台風により、19日から延期）



会員ひろば

旅行同好会 日本海へ

令和初のカニツアー、十一月十三日朝七時、香住カニを求めてシルバー会員五名で今治を出発。自家用車での気心知れた仲間の途中下車ありの旅である。冬間近の日本海を目指し、瀬戸中央道経由で一路鳥取。先ずは秋の蒜山高原へ。温暖化の影響か今年の紅葉はまだようである。



心残りを覚えつつ、倉吉市を経由して東郷湖にある日本最大級の中国庭園「燕趙園」へ。



ここは鳥取県と中国河北省との友好提携のシンボルとして整備され、設計、

資材、加工も中国で行われ、中国の職人によって整備された本格的中国庭園である。庭園の中国美を堪能した後、県境を越え最終目的地の香住へ到着した。

宿での待ちに待った夕食タイム。超豪華な香住カニの、それも食べきれないほどのカニのフルコースに一同唖然!!。然しそこは今治人。わき目も降らず完食を目指すも撃沈!



翌日は、カニ飯、イカ刺し、カニのたつぷり入った味噌汁を満喫し、天橋立、舞鶴とれとれ市場、はては敦賀の日本海さかな街にまで足を延ばし、海鮮丼で大満足!

日本海の冬の味覚を成敗し、大満足で一路今治へ。

千キロを超える五人組の行き当たりばったりの車の旅を満喫し、来年も必ず行こうと約束をして結びとなりました。



小さな幸せを求めて

このたび、会員の河原田 旭さんがこれまでの七十八年にわたる生涯を三二ページの自叙伝として自費制作され、これまでお世話になった方々にお礼と感謝の気持ちを込めてお配りし、好評を得ています。

戦争と複雑な家庭環境で辛く苦しく悲しく死線をさまよった少年期に始まり、心が荒みヤクザとの大喧嘩や用心棒稼業、そんな中出会った空手と師匠、初恋や失恋も経験する激動の青年期。

職場の女子職員にチャホヤされたり一生の伴侶に巡り会えたり、周囲の人や子供にも恵まれ、充実した生活を送って無事定年を迎えた農協勤め時代。

その他の思い出として生母のその後や裁判、株式にかかわる話や趣味の作詞や作曲の話に至るまで色々な思い出話や苦労話が綴られています。

本人は謙遜されていますが、波乱万丈の半生を大作として書き上げたことは本当に素晴らしいことだと思います。



会員作品



手芸「古布バック」
川口 澄子



写真「丹波市・円通寺」
村上 省二



書「シルバー応援歌」
武田 正春



彫刻「瀬戸内の鯛」
岡田 隆義



○適格請求書等保存方式（インボイス制度）の導入について

2023年10月1日より、「適格請求書等保存方式（いわゆるインボイス制度）」が導入されます。現在会員の皆さんにお支払いしている配分金等は、「配分金等本体相当額」と「消費税等相当額」に分けられます。本来、消費税は納税の義務がありますが、一千万円以下の事業者（会員の皆さんは、すべて「個人事業者」とみなされます）は免税事業者でしたので、皆さんにお支払いしていた配分金に含まれる消費税等は、納税の義務はありませんでした。

しかしながら、インボイス制度が導入されますと、免税業者である会員の皆さん（「適格請求書発行事業者」の申請登録を受けた方は除く）に配分金等本体に係る消費税等相当額をお支払いすることが出来なくなります。今お支払いしている「消費税等相当額」については、皆さんの益税となっていること、2023年10月以降は、お支払いできなくなることを、ご理解ください。

○無届の就業について

発注者から直接仕事を依頼された場合は、必ずセンター事務局に連絡をするか、発注者から直接事務局へ申込みするよう説明してください。

シルバー人材センターが受け付けをしていない「無届就業」についての事故やトラブルは、会員の自己責任で解決していただきます。シルバー保険も適応されませんので、厳に慎んでください。

○会員の募集について

会員の募集を行っています。特に剪定・草刈りの出来る方や女性で、何か仕事をしたいと思っている方がおいでしたら、ぜひとも事務局までご紹介ください。

○島よろず相談を実施しています

各支所にセンターが向かい、仕事の依頼や入会の相談を受付けます。

【日時】毎月第3木曜日

9時30分～11時30分

【場所】1月16日宮窪支所

2月20日伯方支所

3月19日大三島支所

○会員作品展開催について

総会会場及びセンター会議室にて会員作品展を開催します。写真・絵画・書・手作り小物等を募集しています。

【募集締切】4月30日（木）

【展示場所】

総会会場及びセンター会議室

【展示日時】

総会開催日から約1か月間

○シルバー今治第20号の表紙に掲載する写真の募集について

発行は本年8月予定

【題材】自由（季節感のあるもの）

大きさはL判

【募集締切】6月15日（月）

○広報掲載記事の募集について

川柳・短歌・安全スローガン・体験談・写真・絵画・書・手作り小物等「会員ひろば」に掲載しますので、自慢の作品を応募してください。

【募集締切】6月15日（月）

作品、記事の提出先は、いずれもセンター事務局までお願いします。

配分金支払日

1月21日（火）	2月20日（木）
3月19日（木）	4月20日（月）
5月22日（金）	6月19日（金）
7月20日（月）	8月20日（木）
9月18日（金）	10月20日（火）
11月20日（金）	12月21日（月）

会員数

男743名 女187名
合計930名（11月末現在）

編集後記

2ページ目の「活動報告」は、愛媛新聞記者が、今治城で働く会員の皆さんに密着取材された情報です。私は、この記事を読んで、「なんて素敵な会員の姿でしょう」と感じました。

今治城の窓口案内や清掃等を担当している3名の方たちですが、皆さんは「人生百年時代を迎え、遊んでいられません。今治城に訪れる人達にとって、私達は『今治の顔』です。笑顔の挨拶や丁寧な対応を心掛けています。また、外国からのお客様が増えているので、英会話にも努力しています。」とあり、活き活きた姿と、一人ひとりのメッセージは、やる気満々。

また、事務局職員が「緊張感を持ち、人とかかわることで、会員さんが健康や自己管理能力を維持できる」とコメントしているのも、なるほどとうなずけます。

写真は、今治城と藤堂高虎像をバックに和やかで楽しく観光案内をしている様子が写っています。

今回は、私達の仲間がこんなに良い雰囲気活躍されている様子を、皆さんにお知らせしたくて特集しました。今年も、楽しく明るい話題をお届けしたいと思います。

どうぞよろしくお願いします。

（井出）